

事業者における自己評価結果（公表）

別紙 3

公表：令和 3年 3月 31日

事業所名 放課後等デイサービス ほっぷひなた

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	・定員10名 ・棚等の設置により、空間を分けて活動に取り組みやすい環境づくりを心掛けています。	・現時点では引っ越しを行う事が困難為、必要に応じて集会所等の場所を借りて活動の設定を行うなど、児童が活動に取り組みやすい環境となるように配慮します。
	②	職員の配置数は適切である	○		・規定以上の人員を配置しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			・業務改善に向けて、定期的な全体でのミーティングや必要に応じて個別での話し合いの場を設けています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・年に一度のアンケートの他に、面談時や送迎時など適宜聞き取りを行い、業務改善に努めています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ホームページで公開しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・関係機関の方が来所された際に、助言や意見を頂戴し、業務改善に努めています。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		日々の活動からもアセスメントを取り、ニーズに対応できるように努めています。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・標準化されたツールは使用していませんが、独自でツールを作成し、特性シートなど活用しながらアセスメントを実施しています。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・ミーティングの設定を行い、スタッフ間で共有、立案できるように心掛けています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・新しい事にも、挑戦や体験が出来るように日々情報収集を行っています。	・児童の特性に応じて、少人数のグループ設定で参加や取り組みが行いやすくなるように配慮しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・こどもミーティングの開催により、ほっぷのルールを児童たちで決める時間を設定しています。	

⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		・保護者さまからの要望や校内での本人のつまづき等を共有しながら、個別・集団の活動設定を行っています。	
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝礼の時間を活用して、送迎やその日の流れを確認しています。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・翌日の朝礼の時間に振り返りを行い、共有、支援の改善に繋がられるよう心がけています。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・担当を決め、日々記録を取っています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・3ヶ月～6ヶ月に1回、モニタリングの実施を行い、保護者さまと面談をする時間を設定しています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		・集団、個別の活動の組み合わせにより、支援が行えるように心がけています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者が参加し、スタッフとの共有を行っています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		・送迎時の時間、またFAXや電話連絡を活用し、連絡調整を行っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		・現在対象児童なし	・現在までに対象児童がない為、取り組めていません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・今年はコロナの影響により訪問は出来ておりませんが、相談支援員の方と連携を図り、電話連絡やケース会議に参加し、情報共有に努めています。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・対象児童なし ただ併用利用児童に関しては、利用先の事業所との情報共有に努めています。	・現在までに対象児童がない為、取り組めていません。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・発達障害については、外部の講師に依頼し、理解に努めています。	・研修の情報を収集し、積極的に参加できるように心がけています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		・集会所に遊びに行く時間を設け、一緒に活動をする機会を設けています。	

	⑳	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		・今後は情報収集を行い、参加が出来る体制づくりを行っていききたいと思います。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎時、また電話やメール等を活用し、日々共通理解が出来るように努めています。	
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		・ペアレントとしての実施は出来ていませんが、必要に応じて家庭訪問を行うなど、アドバイスの行えるようにしています。	
	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・利用契約時、また訪問等があった際には丁寧に説明するように心がけています。	
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・モニタリングの面談以外にも、必要に応じて個別の時間を設定し、支援の方法や配慮点についてはアドバイスをしています。	

保護者への説明責任等	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・取り組みが出来ていません。	・コロナの状況にもよりますが、イベント事を通じて保護者の方が顔を合わせられる時間を作っていきたくと考えています。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・苦情受付者、解決責任者を設定し、迅速な対応が行えるように整備しています。	
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・ホームページを活用し、活動風景について発信しています。活動予定については、予定表やチラシを配布するなどして伝えています。	
	㉘	個人情報に十分注意している	○			
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・連絡ノートや電話連絡、送迎時を活用し伝達を行っています。	
非常時等の対応	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・検討課題となっていました。現在取り組みが出来ておりません。コロナの状況にもよりますが、地域の方との交流が図れるイベントの企画・設定を行いたいと考えています。
	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	・職員への周知は行っています。	・保護者さまへの周知が不十分な状況となっている為、重要事項説明書への記載、またチラシの配布等を行う事で周知を図っていきます。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・月に1回避難訓練の実施を行っています。	
	㉝	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・少なくとも年に1回研修の実施を行っています。	

④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		・身体拘束を行うようなケースは現在ありませんが、必要な場合は保護者の方への説明等が出来るように整備しています。
④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		・現在までに対象児童がいません。
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・職員が閲覧できるようにファイリングをして保管しています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙 4

公表：令和 3年 3月 31日

事業所名 放課後等デイサービス ほっぷひなた

保護者等数（児童数）18 回収数 13 割合 72%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	4	0	0	・活動時の見学をしていないのでわからない。 ・勉強に集中できる部屋もあり、子どもも宿題がはかどっているようです。	・今後は、ブログの更新の回数を増やし、様子や室内の状況が伝わりやすくなるように配慮します。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	3	0	0	・専門性に関しては個人差がやや大きいように感じる。	・知識習得については、研修の設定を継続的に行い、現場支援への結び付けが行えるように、ミーティングの時間を活用し共有の強化を図ります。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	5	0	0		・ブログ等を活用し、室内の状況を発信していきます。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	13	0	0	0		
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	12	1	0	0	・まだ通所したばかりだからわからない。	・活動内容が明確になるよう、予定表やチラシの作成を通じて発信していきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	6	2	0	・現在の状況では難しいと思うが不満はない。	・活動の機会はありましたが、情報の発信が行えていなかった為、ブログやLINEの活用により発信を行います。
保	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	0	0	0	・毎日帰宅時に様子を伝えていただけるのでとても安心している。	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1	0	0		・面談については少なくとも年に2回設定をさせて頂いております。育児に関する助言が行えるように情報収集や研修設定を行います。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	7	5	0	・現状維持で良いと思う。 ・コロナの影響で開催できないのでできない。 ・現在の状況では難しいと思う。	・アンケート調査等を行いながら、必要としている家庭には保護者同士の連携が図れるように、整備を行っていきます。

保護者への説明等	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1	0	0		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	1	0	0	・送迎時の報告の際に、声が小さすぎて聞き取りづらい方がいる。注意の声掛けは大きいと子どもから聞いている。コロナ禍もあるのでソーシャルディスタンスを保ちつつ、聞き取りやすい声量での活動及び送迎時の申し送りをお願いしたい。	・児童、また保護者さまへの対応については、内部研修の設定を行い、適切な声の大きさ、方法等を周知出来るように配慮します。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1	0	0		・周知徹底が行えるように、ホームページにUP後は保護者さまに連絡を行います。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	12	1	0	0		・面談時に、ほっぷでの個人情報取り扱いについて説明を行っています。

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	4	0	0		・今後は重要事項説明書への記載、またチラシ等を作成配布し、周知徹底を図ります。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	2	0	0		・避難訓練の様子については、ブログ等を活用し発信していきます。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	13	0	0	0		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	13	0	0	0	・いつも子どもの気持ちに寄り添って先生方が温かく関わって下さるので、本人もストレスなく通所できています。親自身も相談しやすく心強いです。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。